

朝鮮関連資料・情報の利用教育と図書館との連携 ——天理大学での取り組みを例に——

長森美信 (天理大学国際学部)

はじめに

- 天理大学 (1925 年設立) : 4 学部 (人間学・文学・国際学・体育学) 3 研究科 (学生数約 3000 名)
- 恵まれた環境
 - ① 天理大学附属天理図書館 (多様な朝鮮語文献を豊富に所蔵)
 - ② 天理大学情報ライブラリー (学生向けレファレンスサービスが充実)
 - ③ 韓国・朝鮮語専攻共同研究室 (朝鮮関連文献を集中的に配架する)
 - ④ 国立国会図書館関西館 (自宅から訪館可能な学生が比較的多い)

1. 大学図書館等施設の概要

① 天理大学附属天理図書館

- 閉架式。蔵書数約 148 万冊 (和漢書 : 洋書 = 3 : 1) 宗教学、東洋学、オリエント学、考古学、民族学、地理学、言語学、国文学等において精選された資料を組織的に蒐集。
- 機能 : 天理教の中央図書館、研究図書館 (国宝 6 点、重要文化財 85 点を含む貴重資料。朝鮮学関連資料も充実)、公開図書館 (15 歳以上なら誰でも利用可能)
- 所蔵資料の検索方法 : OPAC (1983 年度以降に収集整理した資料。遡及入力作業を進行中)、カード目録、刊行物目録を併用。
- 学生の館外貸出は 3 冊 2 週間。卒論貸出は 7 冊 1 ヶ月 (3 年次 1 月 ~ 4 年次 12 月)。卒論用入庫検索サービスを提供。

② 天理大学情報ライブラリー

- 開架式。蔵書数約 16 万冊 (各学科・専攻研究室配架分を含む) : 主に学生を対象に授業に密接したわかりやすい本を収集。学生による選書も導入。
- 学生の館外貸出は 10 冊 30 日。

③ 韓国・朝鮮語専攻共同研究室

- 開架式。蔵書数約 1 万 8 千冊。学生の館外貸出は 5 冊 2 週間 (4 年次生は 4 週間)。朝鮮学関連図書を中心に収集。専攻所属教員が選書。
- 韓国国立中央図書館、韓国国際財団 (Korea Foundation) 等からの寄贈書。

2. 天理大学における情報リテラシー教育の一例

	時期	教育内容	備考
1*	1年次：4月中旬～6月初旬	図書館利用オリエンテーション	天理図書館（学科・専攻単位）自主参加も受付
2*	1年次：4月下旬～6月初旬	情報ライブラリー利用オリエンテーション	必修科目「基礎ゼミナール」（平均18名×約40クラス）
3	3年次：4月中旬	「韓国朝鮮（史）関連資料の探し方（日本語文献）」	3年次演習（演習担当教員） 主として日本語文献の検索方法を学ぶ
4	3年次：7月中旬	「韓国朝鮮（史）関連資料の探し方（朝鮮語文献）」	3年次演習（演習担当教員） 主として朝鮮語文献の検索方法を学ぶ DBpia等のオンラインデータベースも活用
5*	3年次：10月下旬～12月	「卒論ガイダンス」	情報ライブラリー 4年次4月にも同オリエンテーションを実施。
6*	3年次：11月中旬	「Refworks」利用ガイダンス	情報ライブラリー（希望者のみ）
7*	3年次：12月初旬～1月下旬	新4年次対象オリエンテーション	天理図書館（学科・専攻単位）自主参加も受付 4年次4月にも同オリエンテーションを実施。
9	4年次：8月初旬	特別講義および利用ガイダンス 「韓国・朝鮮関係資料の探し方」	国立国会図書館関西館アジア情報課

*印は全学行事

※ 情報ライブラリーでは随時、データベース、文献管理ツール（Refworks）等の利用ガイダンスを実施。

小結——現況と課題

- 全学の1年次生を対象とする情報リテラシー教育は必修科目である「基礎ゼミナール」の一環として実施される。ここでは附属天理図書館・情報ライブラリーの使い方を学ばせるのが一次的目的である。所属学科・専攻をもとにクラスが編成されるため、学生の専攻分野が多少考慮される傾向がある。
- 2年次生を対象とする情報リテラシー教育は実施されていない。
 - 図書館等施設の利用は学生の自主性に任されているため、図書館等施設を積極的に利用する学生とそうでない学生とが、この時期に分化する傾向がある。
- 3年次生になると、それぞれ専門分野（韓国・朝鮮語専攻の学生は言語学・文学・歴史学の3分野）のゼミ（演習）に配属され、各分野に関する情報の検索方法、利用方法について学ぶ。
 - 個々の学生に対する丁寧な指導が可能。（ゼミ所属学生は数名～10名強）
 - 紙媒体の資料に慣れていない学生には、現物（単行本・雑誌等）を見せながら丁寧に説明をする必要がある。
- 4年次生の夏に国立国会図書館関西館を訪問。同館を利用することで、学内で閲覧ができない資料もカバー可能。
 - 天理図書館は比較的古い文献が豊富。国立国会図書館関西館には比較的新しい文献を多く所蔵。
 - 韓国で最もよく利用されている有料オンラインデータベースはDBpiaとKISSの二つだが、DBpiaは天理大学内で利用可能、国立国会図書館関西館ではKISSを利用することができる。（経済的負担が必要）
- 恵まれた環境を生かして学習・研究に取り組む学生をどう増やしていくのが課題。